

入間市（埼玉県）との姉妹都市交流が25周年

佐渡市と入間市は、昭和61年10月12日に旧両津市と入間市が姉妹都市提携を交わしたことを契機に友好が始まり、佐渡市に合併以降も観光・スポーツ・文化・物産など幅広い交流が行われてきました。

今年、入間市との姉妹都市交流25周年を迎えることから、入間市から木下市長、近藤議長をはじめ多くの関係者が来島。記念事業として、佐渡市・入間市両市長による交流推進宣言書の調印や両市の木（佐渡市・アテビ、入間市・ケヤキ）で作製された記念盾の交換などが行われました。



5月21日「交流推進宣言書」に署名し、両市のさらなる友好を誓った入間市の木下市長（右）と佐渡市長



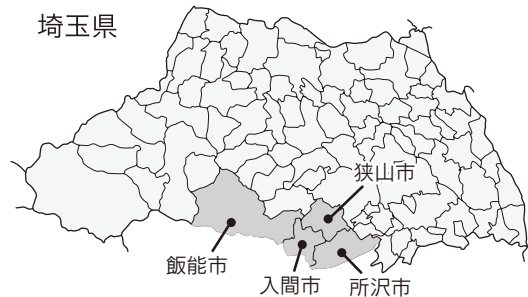
入間市の芸能団体「いるま『太鼓』セッション」による演技（佐渡國鬼太鼓どっとこむメインステージ）



5月22日「佐渡國鬼太鼓どっとこむ」で、交流25周年記念盾の交換を行った入間市の木下市長（左）と佐渡市長

また、イベント交流として、5月22日に開催された「佐渡國鬼太鼓どっとこむ」（おんでこドーム）に入間市の芸能団体「いるま『太鼓』セッション」が出演し、太鼓の演技を披露したほか、入間市から来島したバスツアー一行が2日間に渡って島内の観光地を巡り、新緑の佐渡を満喫しました。

埼玉県



香り豊かな緑の文化都市
入間市

面積 44.74平方キロメートル
(佐渡の約20分の1)

人口 150,676人 (平成23年5月1日現在)

市の花・木・鳥

茶の花・ケヤキ・ヒバリ

特産品

狭山茶、里芋、繊維・織物 など

見所・観光

入間万燈まつり（平成23年10月22日～23日）、入間市文化創造アトリエ・アミーゴ、入間茶まつり（5月3日）、埼玉県営彩の森入間公園、入間市博物館・アリット、さいたま緑の森博物館、桜山展望台

入間市との姉妹都市交流 主なあゆみ

昭和61年10月

入間市が市制施行20周年記念事業の一環として、海があり船旅ができる姉妹都市を求め、旧両津市と姉妹都市提携を締結

昭和62年4月

旧両津市民間宿泊施設業者と入間市が指定保養所の契約を締結（この年、約2,200人の入間市民が利用）

平成8年11月

旧両津市と入間市が災害時における相互応援協定を締結（東日本大震災では、入間市に避難した被災者向けに、佐渡市から支援米360kgを提供）

平成16年7月

佐渡市誕生記念式典に入間市から市長、議長が出席

平成19年度

姉妹都市提携20周年記念として、入間市職員が発見した小惑星を「Sado」と命名。また、平成20年3月に佐渡市から雌のトキ「ヒロ」のはく製を入間市に貸与（はく製は、現在も入間市博物館に展示中）

平成22年9月

入間市シルバー人材センター30周年記念式典にて、佐渡の芸能団体が民謡と鬼太鼓を披露